



平成 21 年 5 月 22 日

各 位

会 社 名 スギホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉 浦 広 一
(コード番号 7649 東証・名証一部)
問合せ先 執 行 役 員 山 口 博 久
(TEL 0566-73-6300)

(訂正・数値データ訂正あり)「平成21年2月期 決算短信」

の一部訂正に関するお知らせ

平成 21 年 4 月 14 日に公表いたしました「平成 21 年 2 月期 決算短信」の記載内容に一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、平成 21 年 2 月期決算短信に記載されたページ数及び訂正箇所にご下線を付して表記しております。

記

2 ページ

〈訂正前〉

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年2月期	<u>77,300</u>	66,526	86.1	1,050 67
20年2月期	—	—	—	—

〈訂正後〉

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年2月期	<u>77,105</u>	66,526	86.1	1,050 67
20年2月期	—	—	—	—

3,4 ページ

〈訂正前〉

・ファーマシー事業

当連結会計年度においては、積極的な店舗展開を行うとともに、老朽化した店舗や不採算店舗の統廃合を実施し、期末店舗数は 450 店舗（前期末比 59 店舗増）となりました。

売上高につきましては、下半期に入り景況感が悪化し消費が冷え込む中、既存店売上高の伸び率は、前年同期比 4.2%増と堅調に推移いたしました。

また、処方箋応需枚数の増加等に牽引された結果、当連結会計年度におけるファーマシー事業の売上高は 1,860 億 79 百万円（前年同期比 10.8%増、181 億 2 百万円増）となりました。

売上総利益につきましては、コアカテゴリーである処方箋調剤・ヘルスケア・ビューティケア部門において値入率が改善したことを主因に、売上総利益率が 28.6%（前年同期より 0.9 ポイント改善）となり、532 億 24 百万円（同 14.4%増、67 億 6 百万円増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、積極的な人材採用と教育に注力した結果、売上高販管費比率は 23.1%（前年同期より 0.8 ポイント増加）となり、429 億 57 百万円（同 14.8%増、55 億 45 百万円増）となりました。

以上の結果、ファーマシー事業の営業利益率は 5.5%（前年同期より 0.1 ポイント改善）となり、営業利益は 102 億 66 百万円（同 12.7%増、11 億 60 百万円増）と過去最高益を更新することができました。

・ドラッグ事業

当連結会計年度においては、不採算店舗等の統廃合を積極的に実施したことにより期末店舗数は 222 店舗（前期末比 7 店舗減）となりました。

売上高につきましては、飯塚薬品㈱の業績が通期で寄与したこと等により、862 億 45 百万円（前年同期比 7.7%増、61 億 65 百万円増）となりました。

売上総利益につきましては、品揃えの見直しを行うとともに、棚卸ロス率の改善、値入率の改善等に努めた結果、売上総利益 181 億 14 百万円（同 10.8%増、17 億 58 百万円増）となり、売上総利益率は 21.0%（前年同期より 0.6 ポイント改善）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、人件費等が増加したことにより 163 億 38 百万円（同 11.6%増、17 億 3 百万円増）となり、売上高販管費比率は 18.9%（前年同期より 0.6 ポイント増加）となりました。

以上の結果、ドラッグ事業の営業利益率は 2.1%と前年同期と同水準を維持し、営業利益は 17 億 76 百万円 (同 3.2%増、55 百万円増) となりました。

<訂正後>

・ファーマシー事業

当連結会計年度においては、積極的な店舗展開を行うとともに、老朽化した店舗や不採算店舗の統廃合を実施し、期末店舗数は 450 店舗 (前期末比 59 店舗増) となりました。

売上高につきましては、下半期に入り景況感が悪化し消費が冷え込む中、既存店売上高の伸び率は、前年同期比 4.2%増と堅調に推移いたしました。

また、処方箋応需枚数の増加等に牽引された結果、当連結会計年度におけるファーマシー事業の売上高は 1,859 億 77 百万円 (前年同期比 10.7%増、180 億 1 百万円増) となりました。

売上総利益につきましては、コアカテゴリーである処方箋調剤・ヘルスケア・ビューティケア部門において値入率が改善したことを主因に、売上総利益率が 28.6% (前年同期より 0.9 ポイント改善) となり、531 億 22 百万円 (同 14.2%増、66 億 4 百万円増) となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、積極的な人材採用と教育に注力した結果、売上高販管費比率は 23.0% (前年同期より 0.7 ポイント増加) となり、427 億 52 百万円 (同 14.3%増、53 億 40 百万円増) となりました。

以上の結果、ファーマシー事業の営業利益率は 5.6% (前年同期より 0.2 ポイント改善) となり、営業利益は 103 億 69 百万円 (同 13.9%増、12 億 63 百万円増) と過去最高益を更新することができました。

・ドラッグ事業

当連結会計年度においては、不採算店舗等の統廃合を積極的に実施したことにより期末店舗数は 222 店舗 (前期末比 7 店舗減) となりました。

売上高につきましては、飯塚薬品(株)の業績が通期で寄与したこと等により、862 億 46 百万円 (前年同期比 7.7%増、61 億 66 百万円増) となりました。

売上総利益につきましては、品揃えの見直しを行うとともに、棚卸ロス率の改善、値入率の改善等に努めた結果、売上総利益 181 億 15 百万円 (同 10.8%増、17 億 59 百万円増) となり、売上総利益率は 21.0% (前年同期より 0.6 ポイント改善) となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、人件費等が増加したことにより 163 億 6 百万円 (同 11.4%増、16 億 70 百万円増) となり、売上高販管費比率は 18.9% (前年同期より 0.6

ポイント増加) となりました。

以上の結果、ドラッグ事業の営業利益率は 2.1%と前年同期と同水準を維持し、営業利益は 18 億 9 百万円 (同 5.2%増、88 百万円増) となりました。

6 ページ

<訂正前>

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

前略

営業活動の結果得られた資金は、83 億 68 百万円 (同 23.6%減、25 億 90 百万円減) となりました。主な内容は、税金等調整前当期純利益が 109 億 16 百万円となり、それに加え仕入債務の増加額 24 億 87 百万円等があった一方で、たな卸資産の増加額 33 億 80 百万円、法人税等の支払額 69 億 41 百万円があったこと等によるものであります。

<訂正後>

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

前略

営業活動の結果得られた資金は、83 億 68 百万円 (同 23.6%減、25 億 90 百万円減) となりました。主な内容は、税金等調整前当期純利益が 109 億 16 百万円となり、それに加え仕入債務の増加額 24 億 87 百万円等があった一方で、たな卸資産の増加額 24 億 49 百万円、法人税等の支払額 68 億 76 百万円があったこと等によるものであります。

20 ページ

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(訂正後)

	当連結会計年度 (自 平成 20 年 3 月 1 日 至 平成 21 年 2 月 28 日)	当連結会計年度 (自 平成 20 年 3 月 1 日 至 平成 21 年 2 月 28 日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	10,916	10,916
	(中略)	
たな卸資産の増減額 (増加: △)	<u>△3,380</u>	<u>△2,449</u>
仕入債務の増減額 (減少: △)	2,487	2,487
その他	<u>1,645</u>	<u>650</u>
小計	<u>15,128</u>	<u>15,064</u>
利息及び配当金の受取額	<u>182</u>	<u>185</u>
利息の支払額	<u>△1</u>	<u>△4</u>
法人税等の支払額	<u>△6,941</u>	<u>△6,876</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,368	8,368

44 ページ

(セグメント情報)

a. 事業の種類別セグメント情報

当連結会計年度（自平成 20 年 3 月 1 日 至平成 21 年 2 月 28 日）

<訂正前>

	ファーマシー事業 (百万円)	ドラッグ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	<u>185,969</u>	<u>86,205</u>	<u>272,174</u>	—	<u>272,174</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	<u>109</u>	39	<u>149</u>	<u>△126</u>	<u>22</u>
計	<u>186,079</u>	<u>86,245</u>	<u>272,324</u>	<u>△126</u>	272,197
営業費用	<u>175,812</u>	<u>84,468</u>	<u>260,281</u>	70	260,352
営業利益	<u>10,266</u>	<u>1,776</u>	<u>12,042</u>	<u>△197</u>	11,845
II. 資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出					
資産	<u>69,559</u>	<u>53,716</u>	<u>123,275</u>	<u>△6,908</u>	116,367
減価償却費	<u>1,817</u>	<u>407</u>	<u>2,224</u>	<u>△5</u>	<u>2,219</u>
減損損失	<u>715</u>	<u>868</u>	<u>1,584</u>	—	1,584
資本的支出	<u>3,289</u>	<u>314</u>	<u>3,603</u>	<u>11</u>	<u>3,615</u>

(注)

前略

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は 255 百万円であり、その主なものは企業イメージ広告に要した費用及び当社の社長室等の管理部門に係る費用であります。
4. 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、18,609 百万円であり、その主なものは、当社での余資運用資金（現預金及び有価証券）及び賃貸資産に係る資産であります。

<訂正後>

	ファーマシー事業 (百万円)	ドラッグ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	<u>185,964</u>	<u>86,207</u>	<u>272,172</u>	—	<u>272,172</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	<u>12</u>	39	<u>51</u>	<u>△26</u>	<u>25</u>
計	<u>185,977</u>	<u>86,246</u>	<u>272,224</u>	<u>△26</u>	272,197
営業費用	<u>175,607</u>	<u>84,436</u>	<u>260,044</u>	<u>307</u>	260,352
営業利益	<u>10,369</u>	<u>1,809</u>	<u>12,179</u>	<u>△333</u>	11,845
II. 資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出					
資産	<u>60,015</u>	<u>25,685</u>	<u>85,701</u>	<u>30,666</u>	116,367
減価償却費	<u>1,794</u>	<u>424</u>	<u>2,218</u>	<u>128</u>	<u>2,347</u>
減損損失	<u>219</u>	<u>1,258</u>	<u>1,478</u>	<u>106</u>	1,584
資本的支出	<u>4,859</u>	<u>367</u>	<u>5,227</u>	<u>12</u>	<u>5,240</u>

(注)

前略

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は 436 百万円 であり、その主なものは企業イメージ広告に要した費用及び当社の社長室等の管理部門に係る費用であります。
4. 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、30,702 百万円 であり、その主なものは、当社での余資運用資金（現預金及び有価証券）及び賃貸資産に係る資産であります。

平成21年2月期 決算短信

平成21年4月14日

上場取引所 東名

上場会社名 スギホールディングス株式会社

コード番号 7649 URL <http://www.drug-sugi.co.jp/hd>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉浦 広一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 山口 博久

TEL 0566-73-6300

定時株主総会開催予定日 平成21年5月25日

配当支払開始予定日

平成21年5月26日

有価証券報告書提出予定日 平成21年5月26日

(百万円未満切捨て)

1. 21年2月期の連結業績(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期	272,197	9.7	11,845	8.9	13,601	12.7	5,374	△21.7
20年2月期	248,134	14.2	10,879	21.1	12,067	22.9	6,861	78.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
21年2月期	84.88	—	7.9	11.9	4.4
20年2月期	108.35	—	11.6	11.3	4.4

(参考) 持分法投資損益 21年2月期 一百万円 20年2月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年2月期	116,367	70,323	60.4	1,110.64
20年2月期	112,400	65,851	58.6	1,039.97

(参考) 自己資本 21年2月期 70,323百万円 20年2月期 65,851百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年2月期	8,368	1,436	△3,926	23,757
20年2月期	10,958	△7,191	△4,934	17,988

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
20年2月期	—	4.00	—	8.00	12.00	759	11.1	1.2
21年2月期	—	6.00	—	6.00	12.00	759	14.1	1.1
22年2月期 (予想)	—	6.00	—	6.00	12.00		10.9	

(注) 20年2月期期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 特別配当 4円00銭

3. 22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	145,800	6.2	6,600	5.6	7,290	3.3	3,670	52.9	57.96
通期	292,000	7.3	12,550	6.0	14,000	2.9	7,000	30.2	110.55

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社 (社名) 除外 — 社 (社名)

(2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、23ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」及び28、61ページ「表示方法の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年2月期 63,330,838株 20年2月期 63,330,838株

② 期末自己株式数 21年2月期 12,662株 20年2月期 10,999株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、46ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 21年2月期の個別業績(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期	97,473	—	5,288	—	6,320	—	2,875	—
20年2月期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
21年2月期	45.41	—
20年2月期	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
21年2月期	77,105	—	66,526	—	—	86.1	1,050.67	
20年2月期	—	—	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 21年2月期 66,526百万円 20年2月期 1百万円

2. 22年2月期の個別業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

当社は平成20年9月1日付で当社の事業を会社分割(新設分割)により新設会社となる「株式会社スギ薬局」「スギメディカル株式会社」の2社に承継し、持株会社体制に移行いたしました。従って、今後の業績見通しにつきましては当社個別の業績見通しは省略し、当社グループ全体の連結業績見通しのみを開示いたします。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料 5ページを参照してください。